

**令和4年度 近畿北陸学生ヨット秋季大会  
レース公示**

- 1. 共同主催**      NPO 滋賀県セーリング連盟      京都府セーリング連盟  
近畿北陸学生ヨット連盟
- 2. 後援**            富山県セーリング連盟  
石川県セーリング連盟
- 3. 場所**            大津市柳ヶ崎ヨットハーバー
- 4. 競技種目**        国際470級、国際スナイプ級
- 5. 大会期日**        令和4年11月25日～11月27日
- 6. 日程**

11月25日	主将艇会議	17:00 zoom (オープンチャットにて通知)
11月26日	開会式	8:30 zoom (オープンチャットにて通知)
	ブリーフィング	8:40 zoom (オープンチャットにて通知)
	470級予告信号	10:00
	スナイプ級予告信号	470級スタート信号に引き続き行う。
	1日目第2レース以降	前のレースに引き続き行う。
11月27日	ブリーフィング	8:40 zoom (オープンチャットにて通知)
	470級予告信号	10:00
	スナイプ級予告信号	470級スタート信号に引き続き行う。
	それ以降のレース	前のレースに引き続き行う。
	閉会式	zoom (オープンチャットにて通知)

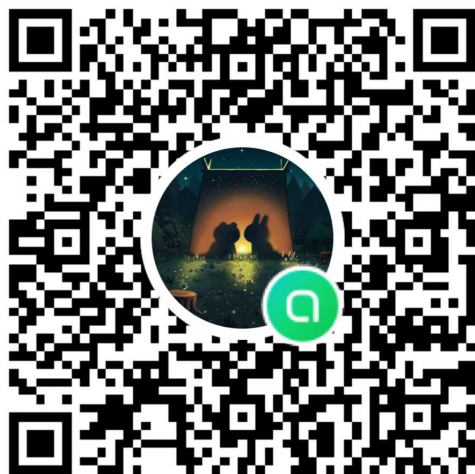
- 6.1 本大会のレース数は両クラス共に、最大8レースとする。1日のレース数は定め  
ない。

- 6.2 11月26日は、470級については15:00を過ぎての、スナイプ級についてはその10分後を過ぎての、11月27日は、470級については14:00を過ぎての、スナイプ級についてはその10分後を過ぎての予告信号は発しない。
- 6.3 帆走指示書はエントリー開始段階にて、近畿北陸学生ヨット連盟公式ホームページで公開する為、主将会議での配布は行わない。

## 7. コミュニケーション

公示6.3および以下の近畿北陸ホームページ、近畿北陸学生ヨット秋季大会LINEオープンチャットのURLを以下に示す。尚、[オンライン公式掲示板](#)は、racing rules of sailingに、使用するzoomのURL等は、近畿北陸学生ヨット秋季大会LINEオープンチャットにて公開する。

### オープンチャット



## 8. 規則

- 8.1 本大会は「セーリング競技規則」（以下「RRS」という）に定義された規則を適用する。但し、帆走指示書は、RRSの一部を変更している。
- 8.2 [DP]本大会は、現行の「470級学連申し合わせ事項」、「スナイプ級学連申し合わせ事項」及び『艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項』を適用する。
- 8.3 本大会は、RRS付則Tを適用する。
- 8.4 RRS87及び470クラス規則A6.2に基づき、470クラス規則の規則C節に次の文章を追加する：「完沈を防ぐ目的で、マストトップに浮力体をつけてもよい。」
- 8.6 SCIRA規則の『国内及び国際選手権大会の運営規定』は、同規定9.1に定められたレースを行う最大風速に関する規定を除き、適用されない。
- 8.7 規則41に以下を追加する。  
『(e)自チーム内での情報の交換』
- 8.8 規則60.1(b)に以下を追加する。  
『ただし、艇は、自チームの他艇から受けた損傷または損害に基づいて、救済要求を行うことはできない』

## 9. 参加資格

- 9.1 競技者は、(公財)日本セーリング連盟 2022 年度メンバーであって、かつ、全日本学生ヨット連盟規約第 6 条を満たしていなければならない。
- 9.2 470 級の競技者は、公示 9.1 に加えて、日本 470 協会 2022 年度団体登録を済ませた団体に所属する者でなければならない。
- 9.3 スナイプ級の競技者は、公示 9.1 に加えて、2022 年度 SCIRA 会員登録を済ませていなければならない。
- 9.4 1 チームは 3 艇までとし、2 艇または 1 艇であっても 1 チームとして出場できる。各大学複数チームでの参加を認める。
- 9.5 帆走指示書に従う場合、そのチームが登録した競技者間で乗員交替を行ってよい。参加しようとするチームは、公示 9.1 から 9.3 を満たす競技者を、公示 10 に従って登録しなければならない。

## 10. エントリー

### 10.1 エントリー申し込み

- ①エントリーフォーマットをホームページ「各種書類」よりダウンロード
- ②エントリーフォーマットに必要な事項を記入
- ③ホームページの「エントリー・お問い合わせ」部分からファイルをアップロードし、期日(11月24日)までに申し込みを行う。

### 10.2 エントリー

- (1) エントリー料：1 艇 3,500 円

※エントリー料については、期日(11月19日)までに振り込みを行う。

振込先は右の通り。キンキホクリクガクセイヨットレンメイカイケイタナカトモヤ

滋賀銀行 瀬田駅前支店(190) 普通 580905

振込は個人名ではなく、大学名とすること。

- (2) チームに登録した者で交替を行ってよい。

## 11. 艇

- 11.1 艇は、現行の「470 級学連申し合わせ事項」または「スナイプ級学連申し合わせ事項」を満たさなければならない。
- 11.2 470 級の艇は、公示 11.1 に加えて、日本 470 協会 2022 年度団体登録を済ませた大学に所属する艇でなければならない。
- 11.3 スナイプ級の艇は、2022 年度 SCIRA 登録及び 2022 年度計測を済ませたものでなければならない。
- 11.4 原則として自校所有艇とするが、レース委員会の承諾を得た場合チャーター艇でも可とする。チャーター艇の場合でも公示 11.1、11.2、11.3 を満たさなければならない。
- 11.5 艇は、チャーター艇の場合を除き「艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項」に定められた表示をしなければならない。チャーター艇をエントリーする場合

は、近畿北陸学生ヨット秋季大会オープンチャットにて、チャーター艇である旨を申告しなければならない。

## 12. セール

- 12.1 セールは、各自持参したものを使用すること。なおスナイプ級は2022年度計測を完了していなければならない。
- 12.2 同一チーム内で、同一のセールナンバーの使用は認めない。ただし、ダッシュナンバーは同一とみなさない。

## 13. 搭載物品

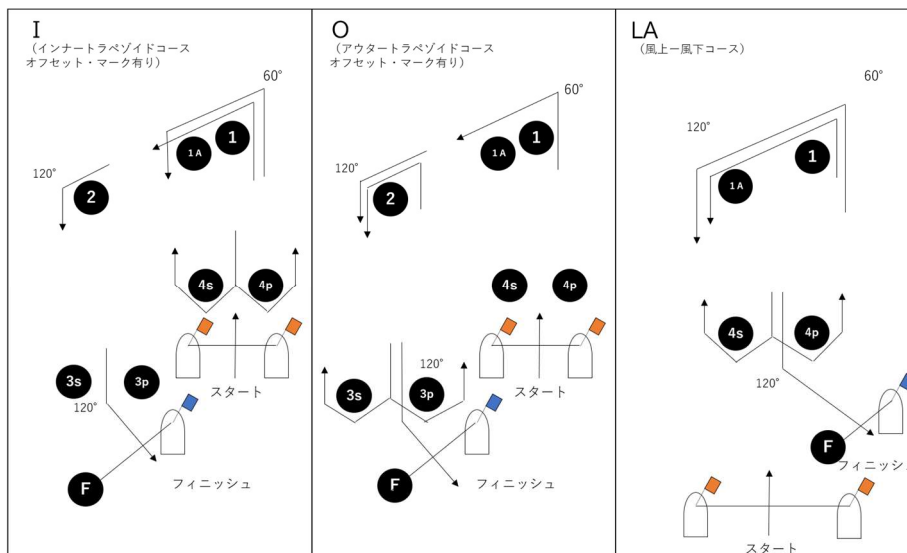
艇はマストトップに浮力体を装備してもよい。

## 14. 艇が出会った場合

艇がタックするためのルームが必要であること、または声掛けに応じることを示す代替手段として、対象の艇を目視し、手を水面と並行に大きく振ることとする。

## 15. コース

- 15.1 以下の見取り図は、レグ間のおよその角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 15.2 予告信号以前に、レース委員会信号艇に最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。
- 15.3 予告信号以前に、レース委員会信号艇にコースを指示する文字を掲示する。コースを示す文字と、通過するマークの順序を以下に示す。



トラペゾイドコース（インナーループ）	I2	Start-1-1A-4P/S-1-2-3P-Finish
--------------------	----	-------------------------------

	I3	Start-1-1A-4P/S-1-1A-4P/S-1-2-3P-Finish
トラペゾイドコース (アウトーループ)	02	Start-1-2-3P/S-2-3P-Finish
	03	Start-1-2-3P/S-2-3P/S-2-3P-Finish
風上一風下コース	L2	Start-1-1A-4P/S-1-1A-4P-Finish
	L3	Start-1-1A-4P/S-1-1A-4P/S-1-1A-4P-Finish

## 16. 得点

- 16.1 クラス別のチーム順位は、実施されたすべてのレースについて、チームごとに全ての得点を加算し、総得点の低いチームを上位とする。
- 16.2 総合のチーム順位は、両クラスとも本大会に出場したチームのうち、両クラスの本大会の全ての得点を加算し、総得点の少ないチームを上位とする。
- 16.3 公示 16.1 及び 16.2 において、各クラス 3 艇に満たないチームの得点には、必要艇数分の DNC の得点を加算する。
- 16.4 クラス別及び総合のチーム総得点のタイについては、RRS A8 を、「艇」を「チーム」と読み替えた上で適用する。
- 16.5 本大会の成立には、1 レースを完了することが必要である。
- 16.6 『除外できない失格 (DNE)』を課された艇には、シリーズに参加した艇の数に 5 を加えたフィニッシュ順位の得点が記録される。これは RRS A5.2 を変更している。

## 17. 支援艇

- 17.1 **[DP]** 支援艇は、レース委員会に指定された緑色旗を目立つように表示しなければならない。
- 17.2 支援艇は、帆走指示書の指示に従わなければならない。プロテスト委員会は、支援艇の違反を申し立て、その支援艇の関与するチームの艇を抗議することができる。プロテスト委員会は、審問においてその支援艇の違反を認定した場合、その支援艇の関与するチームの艇にペナルティーを課することができる。
- 17.3 支援艇の代表者は、プロテスト委員会から要請された場合、NoR17.2 に基づく審問に出席しなければならない。
- 17.4 RRS37 に基づき、レース委員会が音響信号一声と共に V 旗を掲揚した場合、全ての運営艇、支援艇は可能な場合には、捜索と救助の指示を受けるためにレース委員会の無線の通信チャンネルを聴取しなければならない。
- 17.5 長音 1 声と共に掲揚されたピンク色旗が掲揚されている間、支援艇は、危険な状態にある艇に対して、可能な限りのあらゆる救助をしなければならない。この規則に従って救助している支援艇には、SI 22.2 (b)、22.3 および 22.4 は適用されない。

## 18. 肖像権

シリーズ期間中の映像、写真及びシリーズの成績は主催団体のウェブサイトに掲載される場合がある。

**19. 賞**

賞は次のように与える。

各クラス	賞状 1～3 位
総合	賞状 1～3 位

**19. 責任の否認**

本大会の競技者は自分自身の責任で参加する。規則4参照。主催団体は、大会の前、後、期間中に生じた物理的損害または身体的障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

**20. コロナウイルス感染予防**

コロナウイルス対策大会実施要項参照

以上